

# 八幡の未来に光を見出す

2月26日に開会しました平成30年八幡市議会第1回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「平成30年度施政方針」を表明しました。その主な内容を紹介します。また、施政方針の全文は市ホームページ(<http://www.city.yawata.kyoto.jp/>)に掲載しています。



## 「幸せ」に出逢える まちづくりを進める

八幡市長 堀口 文昭

平成30年の干支は戊戌(ごご)です。戊(つちのえ)は土で、中間、ちょうど折り返しの時点にあたります。平成28年2月、2期目の市政運営をスタートさせていただきました。偶々さかにも、私の任期の折り返しの時期にあたり、また、第5次八幡市総合計画をスタートさせる年ともなりました。公約の実現に向け、市民協働を基本に「これからのまちづくりをさらに魅力あるものにしていかねば」と思いを強くいたしました。

さて、平成29年は、市民の皆様、市議会議員の皆様をはじめ、国、京都府、関係機関のご尽力により市制施行40周年を迎えることができました。しかし、本市におきましては、人口ボーナス期(※)が過ぎ人口オナーズ期(※)に入り、市税収入が減収基調となっていることや社会保障関係経費の増加など、歳入歳出の不均衡の拡大が立ちはだかる「壁」となっています。また、庁舎整備などの公共・公用施設整備への財政需要は、それに拍車をかけてまいります。

そうした中におきましても、第5次八幡市総合計画が幕を開け、今を生きる世代が責任を全うし、将来世代に豊かな生活を引き継いでいかなければなりません。そのためには、市民の「安心・安全」を基に「活力あるまち」「へと」しなやかに発展をさせながら、一方で、多様性と包摂性のある「共生社会」の中、誰もが「健康」で「幸せ」になれるまちづくりを進めていかなければなりません。また、もう一方では、地域の将来を担う子どもを成長を地域で支え、安心して子どもを産み育てたいと思える「子ども未来」を創っていくとともに、豊かな自然・歴史・文化を背景に、愛着と誇りが持てる地域の中で、市民だけでなく訪れる人が八幡のまちで「幸せ」に出逢えるまちづくりを進めていくべきだと考えております。

国の財政状況も厳しく、地方自治体の財源確保が難しくなっています。また、これまで地縁的な強い絆を核として成り立っていた「自治の力」、市民自治の原点でもある「地域の力」が低下してきています。さらには孤立社会と呼ばれる社会も出現しています。こうした社会情勢の中、本市の体力と課題とをしっかりと見極め、政策を選択しながらも、そこに何らかの工夫、創造を付加した取組を進め、持続可能な八幡市運営を行っていかねばなりません。京都府と力を合わせながら、エンジンが電気から光を生み出したように、八幡市の未来に光を見出してまいります。

## 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

日本三大随筆の一つである「徒然草」第52段は、石清水八幡宮が舞台となっています。そのことに因み、平成29年度では市制施行40周年を機に「徒然草エッセイ大賞」を創設し、2,600作品もの応募をいただきました。平成30年度も八幡市をさらに全国へ発信してまいります。八幡市での観光で「幸せ」と出逢えるよう、八幡市の「歴史文化ものがたり」を発信していく取組とともに、「おもてなし環境」の整備を進めてまいります。



- お茶の京都普及啓発(DMO分担金)(継続) 677万円
- お茶の京都交流拠点づくり推進(継続) 70万円
- 新・空中茶室イベント事業(新規) 150万円
- 「Chaz in YAWATA」開催(継続) 570万円
- 八幡産てん茶普及啓発(充実) 400万円
- 浜茶景観維持助成(新規) 21万円
- 歴史文化ものがたりコンテンツPR広告作成(新規) 135万円
- 徒然草文学賞表彰(継続) 1,000万円
- 史跡保存整備事業(八角堂)(継続) 4,875万円

- 名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画策定(継続) 420万円
- 観光基本計画策定(新規) 450万円
- 男山四十八坊等観光案内冊子、案内板作成(新規) 107万円
- 社寺観光事業(継続) 40万円
- インパウンド対応情報発信(HPRリニューアル等)(新規・充実) 185万円
- 松花堂庭園・食の交流棟等改修(新規) 430万円
- やわた流れ橋交流プラザ・食彩棟テラス改修(新規) 300万円
- 観光PR紙作成(新規) 100万円
- 八幡市駅前改修(アーケード改修等)(新規) 750万円

## 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

自然災害の脅威から市民の皆様の生命と財産を守る取組をさらに充実させていくとともに、人口減少社会の到来に伴って将来世代に負担を強いることがないよう、財政負担の軽減・平準化を実現するための行財政改革をさらに進めながら、持続可能なまちを目指してまいります。



- 庁舎整備事業(新規) 1億1,520万円
- 雨水地下貯留施設設置(継続) 3億6,600万円
- J-ALERT新型受信機整備(新規) 270万円
- ハザードマップ改訂(新規) 280万円
- 避難所特設公衆電話設置(新規) 17万円
- 防犯カメラ設置助成(組替) 225万円
- 八幡柿ヶ谷通学路安全対策(新規) 360万円
- 美しいまちづくり事業(安全対策ベスト等)(新規) 50万円

- 地球温暖化対策推進事業(充実) 690万円
- 上水道栗ヶ谷配水池耐震化(新規) 3,453万円
- 美濃山浄水場中央監視装置等更新(新規) 1億330万円
- 水道管路耐震化・老朽管更新等(継続) 3億2,860万円

## ともに支え合う「共生のまち やわた」

「みんなで創る」まちづくりは、私の市政運営の基本姿勢であり、市政全般にあてはまります。個人のライフスタイルや価値観が多様化し、また、少子高齢化の進展や核家族化により、無縁社会と呼ばれるほど地域コミュニティが希薄化してきています。そのような中であるからこそ、地域コミュニティという市民自治の基礎に立ち返らなければなりません。市民一人ひとりが、互いに人権を尊重し、理解し、互いに支え合いながら自分らしく活躍できる社会の実現を目指してまいります。



- 山城人権フェスタ・やわた男女共同参画フェスティバル開催(継続) 234万円
- 介護職員初任者研修受講料助成(継続) 30万円
- 八幡市あんしんネットワーク事業(認知症高齢者等徘徊想定訓練)(新規) 12万円
- 地域生活支援拠点事業(充実) 810万円
- ふれあい訪問収集(継続) 119万円
- 手話奉仕員養成研修事業(継続) 220万円
- 絆ネット構築支援(継続) 365万円

- ふれあい交流事業(友好都市マイラン村交流)(充実) 20万円
- 「わたしたちの談話」プロジェクト(新規) 5万円
- 男山地域再生・地域包括ケア事業助成(継続) 654万円
- 市民協働活動センター運営(継続) 307万円
- コミュニティ事業推進(継続) 3,325万円
- 歩道バリアフリー化(継続) 250万円

## 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

健康寿命を延ばし、誰もが「健康」で「幸せ」に暮らすことができるよう、健康意識の向上に向けウォーキングの推進や各種健康教室を開催するほか、健幸アンバサダーを活用した健康情報の発信に取り組んでまいります。また、やわたスマートウェルネスシティ計画に基づき、「人に対する健康づくり」だけでなく、「まちの健康づくり」の視点も大切に取り組んでまいります。



- スマートウェルネスシティ推進(継続) 1,115万円
- 健康フェスタ開催(継続) 176万円
- 健幸マルシェ開催(新規) 50万円
- ウォーキング推進(継続) 70万円
- やわたヘルスプロモーション推進(「健幸アンバサダー」養成)(継続) 55万円

- 地域密着型サービス拠点整備助成(新規) 3,760万円
- 多職種連携在宅療養支援事業(在宅・介護連携支援センター)(新規) 130万円
- 認知症初期集中支援推進事業(新規) 26万円
- やわた健康ナビ作成(新規) 14万円

## 子どもが輝く「未来のまち やわた」

全国的に少子化が進む中、本市におきましても、平成29年の出生者数が467人となるなど、子どもの数が減少傾向にあります。また、核家族化の進行により子育てへの不安や戸惑いを感じる方々も少なからずおられることでしょう。さらには、子育て世代のライフスタイルも大きく変化してきています。このような状況を鑑み、子育て支援を総合的に推進していくための「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた調査・研究を進めてまいります。



- 産前・産後ヘルパー派遣(継続) 113万円
- 乳幼児発達クリニック(継続) 22万円
- 10カ月育児健康相談(充実) 60万円
- 発達障害児等早期療育支援(継続) 153万円
- 子ども・子育て支援事業計画策定(新規) 790万円
- 子育てサークル助成(継続) 18万円
- 子ども用防火衣購入(新規) 11万円
- 母子家庭等高等学校卒業程度認定試験合格支援(継続) 15万円

- スタディサポート(鳩嶺教室)事業(継続) 3,470万円
- 中学校給食実施(継続) 2,275万円
- 南山小学校トイレ改修(新規) 360万円
- さくら小学校廊下等改修(新規) 602万円
- 男山第三中学校コンピュータ室空調設備改修(新規) 300万円
- 有都小学校無線LAN整備(新規) 800万円

## しなやかに発展する「活力のまち やわた」

新名神高速道路の整備が進捗し、本市はこれまで以上に交通の要衝となります。グローバル化が進む経済環境の中で、この好条件を活かし、まちの活力を支える基盤づくりが大切であると思っています。また、新名神高速道路の全面開通のインパクトを活かした土地利用のさらなる活性化も見据える中で、「市街地整備計画」の検討結果を考慮した「都市計画マスタープラン」の改定に取り組んでまいります。



- 空き家等調査実施(新規) 700万円
- 地籍調査事業(継続) 1,250万円
- 都市計画マスタープラン改定(継続) 770万円
- 創業融資等中小企業金融対策(継続) 502万円
- 「まちゼミ」事業(新規) 25万円
- 橋本駅周辺拠点整備(駅前広場整備)(新規) 4,800万円
- 府道八幡インター線整備(継続) 2,055万円

- 二階堂川口線バイパス整備(継続) 1,025万円
- 野神線道路整備(継続) 5,050万円
- 府道八幡田辺線整備(継続) 570万円
- 川口揚水機場改修実施施設設計(新規) 500万円
- 地産地消推進(給食地元産米・味噌利用促進)(継続) 217万円
- さくらであい館農産物直売所運営助成(継続) 100万円